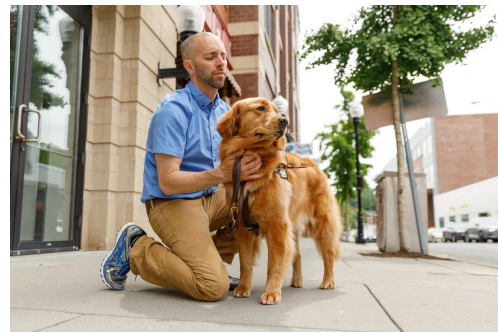




犬に寄生するノミのを見つけ方とは？

ノミが犬にもたらす症状・病気や駆除・対策方法をご紹介します

犬に寄生するノミは、犬の毛の中に生息し、様々な症状を犬にもたらします。今回は、犬に寄生するノミのを見つけ方や、もたらす症状・病気、駆除・対策方法など、知っておきたいノミ対策の基礎知識を詳しくご紹介していきます。



犬に寄生するノミとは

犬に寄生するノミの種類のはほとんどは、ネコノミと呼ばれるものです。成虫になると1.5～2mmくらいの大きさになり、肉眼でも確認することができます。体の色は茶褐色で、犬の毛の中で、13～14度の気温になると、活発に活動をするようになり、産卵を始めます。一度、犬にノミが寄生すると、室内飼いの場合は犬の体表だけでなく、ソファ、カーペット、畳、ベッドなどのいたるところに産卵を行います。

犬に寄生するノミのを見つけ方

犬に寄生するノミは、1.5～2mmくらいの大きさであるため、犬の体表をよく観察すると発見することができます。

わかりやすい犬に寄生するノミのを見つけ方は、目の細かいクシを用意してブラッシングすることです。

犬にノミが寄生するとみられる症状・病気

犬にノミが寄生していると、足で頻繁に顔や体を掻く癖が出る、体表を地面にこすり付けるようになる、肌に赤い点々がみられる、毛が薄くなり脱毛している部位がみられる、など、様々な症状が出ます。

また、ノミに刺された箇所が、ノミの唾液によるアレルギー反応を引き起こし、強い痒みを発症します。それにより、皮膚の急激な炎症（ホットスポット）が出ることもあり、子犬の場合には貧血症状が出ることもあるため、注意が必要です。

犬にくっついたノミを見つけた時の対策

犬にくっついたノミを見つけた場合は、絶対に指で潰してはいけません。ノミを潰すと、メスの体内に大量にある卵が周囲に飛び散ってしまう恐れがあるほか、万が一、瓜実条虫に寄生されたノミの破片などが犬や人間の口に入った場合は、瓜実条虫症を引き起こす可能性があります。

動物病院で獣医師の診断の上、処方された薬を投薬したり、市販の駆除薬を使って室内のノミを退治したりすることをおすすめします。

犬に寄生するノミを駆除するための方法

犬に寄生するノミを駆除するための方法は、具体的に以下が挙げられます。

・駆除薬の投与によるノミの駆除

犬に寄生するノミを駆除する対策として、最も効果が期待できるのは、動物病院で処方される駆除薬の投与です。犬のノミ対策の駆除薬は、おやつのように食べることができるチュアブルタイプと、首に垂らすスポットタイプの2種類があります。

・ノミ取りシャンプーによる駆除

犬に寄生するノミの対策として、ノミ取りシャンプーを利用する飼い主の方も多いかと思われそうですが、駆除薬とは違い、あくまでも一時的な効果しかありません。シャンプーで死んだように見えたノミも、実際には仮死状態になっているケースがあるため、ブラッシング用のクシなどを使って取り、ガムテープなどに貼り付けて確実に駆除しましょう。

ノミを発生させないためにとるべき予防方法

犬にノミがそもそも寄生されないために行うべき行動は以下です。

・散歩後のブラッシングやシャンプーの徹底

犬の散歩でノミに寄生されそうな場所（草むらなど）を避けるようにするのはもちろん、散歩後のブラッシングやシャンプーを徹底し、ノミが犬に寄生しないような習慣を、日々癖づけるのが良いでしょう。

・清潔な犬の飼育環境を整える

飼育環境が劣悪だと、犬はすぐに、ノミに寄生されてしまいます。ノミの餌となるようなホコリ・フケ・食べかすなどを掃除機で丹念に吸い取り、掃除を隅々まで行いましょう。

・定期的な獣医師の診断と予防薬の投与

犬に寄生しているノミは、肉眼でも確認することはできませんが、飼い主が無理に発見しようとするよりも、プロフェッショナルである獣医師に診断してもらい、予防薬も処方してもらうことをおすすめします。

犬がノミに寄生されていることがわかった場合は、早めに獣医師に相談を

動物病院では犬に寄生するノミに効果が期待できる駆除薬や予防薬などを処方してもらえるほか、健康診断や、マダニなどのノミ以外の寄生虫に対する対策・予防なども実施してもらうことができ、総合的な健康管理を行うことができます。

飼っている犬にノミが寄生している可能性が考えられる場合は、放置することなく、早急に動物病院で受診させ、ノミの駆除・予防のための対策を実施するようにしましょう。

ノミ・マダニに関する最新情報をチェック！

LINE 公式サイト LINE@友達募集中 →

